

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	さる・かに合戦事業
事業主体 (連絡先)	生坂村 (社会就労センター TEL0263-69-2160)
事業区分	6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / <u>ソフト・ハード</u> (該当項目に○印を記入)
総事業費	4,410,948 円 (うち支援金: 3,086,000円)

事業内容

生坂村は古くからの柿の産地であり、秋になると何れの木も見事に実をつけます。食生活の変化に等により柿に対する認識が薄らぎ実った柿もそのまま放置され小鳥達の餌になっている。

地域資源である柿を活かす為に、干し柿として商品化することを目的とする。また、柿を収穫することにより、柿を食べる鳥獣がきづらい環境づくりを行った。

現在、点在している柿の木は剪定等が出来ないくらい高く、広く生い茂り枝が広がっている。そのため、村の集落組合等に高所作業機を貸出し、協働で剪定作業を行い、収穫しやすい環境を整備した。また、干し柿を作るための拠点(パイプハウス)を整備し、村と住民が協働で柿の加工品開発をした。



【 柿の皮むき作業 】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

高齢化率の高い本村での地域の特長を活かした産業の開発として、使われていない財産(柿木)の有効活用を、地域住民との協働作業で行い、柿の加工品開発をなど、これを契機として新たな事業機会を創出すると共に産業振興に繋げたい。

【目標・ねらい】

- 有害鳥獣対策
- 技能を活かした産業開発
- 高齢者の生きがい対策
- 介護予防対策

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

古くからある柿木農家の高齢者に働きかけをしながら、剪定など環境整備を行い、柿の実が安定的に収穫できるようにして、村の特産品として蘇らせるように働きかけをしていきたい。

また、販路についても東京にあるふるさと生坂会や体験農業に訪れた生坂クラブ員などにダイレクトメールで販売するほか、ホームページでも注文を取りながら販路を広げていきたい。

そうすることにより、高齢者の冬場の仕事を作り、生きがい対策、介護予防対策としていきたい。

※ 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと